



PROFILE: 杉野服飾大学、ロンドンカレッジ・オブ・ファッションを卒業。帰国後、月島で「セコリ荘」を運営。セコリ荘 URL: secorisou.com

ものづくりコミュニティスペース「セコリ荘」オーナー宮浦晋哉の

# 今日も産地に行ってきました!

愛車:セコリ号



本連載では日本各地の特色豊かな工場や生地の魅力を紹介する。案内役を務めるのは、年間150以上の工場を回り、産地とデザイナーを結びつける場である「セコリ荘」を月島で運営する宮浦晋哉オーナー。今年はテキスタイルに特化したプラットフォームサイト「TEXTILE JAPAN」と「産地の学校」も始動。日本のテキスタイルを国内外へ発信する。

H29.10.9 WWD 日本

Vol.18 岐阜県羽島市(資料館編)

## 10万点以上のテキスタイルが集まる国内随一の資料館

今回は岐阜県羽島市にある、テキスタイルマテリアルセンター(通称:マテセン)に行ってきました。マテセンは2008年8月のオープン以降、毎年2000点以上テキスタイルが増え続け、現在ではなんと10万点以上が収蔵されています。テキスタイル好きにとってはたまらない場所で、国内で作られたテキスタイルサンプルが一覧できる国内最大規模の資料館です。

マテセンには、国内外で開催されるテキスタイル総合展などで展示された国内メーカーのテキスタイルサンプルや、産地企業から寄付されたサンプルなどが収蔵されており、年々サンプルが追加されています。そのため、常設展示場としての役割とデザイナーのインスピレーションの場としての役割を担っています。天然繊維、合成繊維の織物、ニット、プリント加工まで多種多様なテキスタイルが並び、100年以上前を見本帳などもあるので、僕自身、訪れる度に「1日かけても見切れなかった〜!」と後ろ髪

を引かれます。

ファッションやテキスタイルのデザイナーが企画、開発する際のアイデアソースの場としても活用されていて、泊まり込みでやってくる方も少なくないと言います。また近年は、服飾学校の研修で訪れる人が増えてきているそうです。「リサーチや情報交換の場としてはもちろん、学生や異業種へも情報提供していきたい」と語るのは、マテセンの案内役を務める山田幸士さん。足を運ぶデザイナーにマッチしそうな工場を紹

介するなど、フットワークが軽く、情熱的な方です。マテセンをきっかけに工場に入った方もいるそうです。一方で、テキスタイル開発の相談役を勤めるのが、岩田善之さん。岩田さんは織物製造のイワゼンの社長でもあり、数々の有名デザイナーのテキスタイル開発を手掛けています。岩田さんとはとてもうれしそうにデザイナーとの二人三脚でのお仕事の話をしてくれて、デザイナーへの愛が深い方です。この2人がマテセンの顔であり、マテセンを多くの方に愛され

る場所に育ててきました。

そんなマテセンは、さらに活用される場所を目指して、今年9月にウェブサイトリニューアルして、館内にある素材をキーワード検索できるようにしました。これにより利用者は膨大なサンプルの中から求めている素材を瞬時に探せるようになりました。加えて産地研修ツアーなどの企画も練っていると言います。アパレル、テキスタイル、教育関係の方、もちろん学生も訪問できますので、是非足を運んでみてください。(その場合は事前予約をお忘れなく!)心からお勧めします。

### Contact

社名:マテリアルセンター(岐阜県毛織工業協同組合)

所在地:岐阜県羽島市竹鼻町蜂尻448

代表者:山田幸士

連絡先:058-391-8511

<https://matesen.com/>

[gikekou@estate.ocn.ne.jp](mailto:gikekou@estate.ocn.ne.jp)



1.テキスタイルマテリアルセンターの案内役を務める、岩田善之さん(左)と、山田幸士さん(右) 2.まさに、テキスタイルの図書館。数十列のテキスタイルのラックが並んでいます。